

第27回オール岐阜コンテスト委員長講評

本年のオール岐阜コンテストは、県内局71（昨年60）、県外局200（同177）、合計271局（同237局）と、昨年に比べ14%余の増加となりました。たくさんの参加、ありがとうございました。

さて、今回もログを審査する中で気づいた点がいくつかありました。ここに掲げさせていただきますので、これを今後の参考とされ、せっかくの交信が減点とならないように注意していただくようお願いします。

1 申告点数が0点というものがたくさんありました。

サマリーシート、ログシートはJARL制定の様式（または様式に準じて）で作成をお願いしています。電子ログについては、審査が容易にできるR1.0の形式を推奨していますが、R2.0でもOKです。ただ、いずれの場合にも必須項目は正しく記入してください。今回特に、総点数欄が「0点」というものが複数のログでありました。委員会では申告点数0として扱いました。また、計算誤りで申告点が過少の場合も委員会では修正せず申告点の方を採用しますので、提出の前に再確認をお願いします。

2 ログシートには適切な表記をお願いします。

ログシートは交信日時、バンド、モード、コールサイン、送信ナンバー、受信ナンバー、マルチ、ポイントまで適切な表記をお願いします。交信日時がコンテスト開催時間外であったり、送信ナンバー、受信ナンバーが未記入（RSのみで県（市郡）ナンバーが未記入）のものがあり、減点としました。すべてがそうであった場合はチェックログとしました。

また参加部門（種目）とログの内容があってないものがありました。例えばハーフ種目なのに2日間計上してあったり、50W出力なのに電話部門にエントリーなど。

また減点にはしませんが、マルチの表記が「1」や「○」とされたログもいまだに少なからずあります。ご注意ください。

ログシート記載例

DATE	TIME	BAND	MODE	CALLSIGN	SENT No	RCV No	MULTI	PTS
2024-06-09	09:55	144	SSB	JA2***/2	59 1901	59 19008	19008	1
2024-06-09	09:59	144	CW	JH2***	599 1901	599 19008	-	1

今後とも、よろしくお願いいたします。

岐阜県支部コンテスト委員会 委員長 田原充 JE2QBL